

第9回： 小規模排水対策の施策と新技術の展開

開催日： 1986年5月15日～16日 / 会場： 「私学会館」東京都

開催趣旨： 近年、生活環境の向上や水質保全を推進するために各種の施策が行われ、数多くの排水処理施設が建設されつつありますが、特に今後は小規模な排水処理施設を積極的に整備していく必要があると各方面から指摘されております。

その場合、大規模な処理施設とどのように調和させて整備していくのか、また排水の水質規制に適合した処理方法を採用していく必要があるなど、多くの行政上、技術上の課題があります。

今回はこのような情勢のもとで、小規模な排水処理を考える上に必要な施策と新しい処理技術に焦点をあててセミナーを企画しました。

講演タイトル（講師／所属（当時））：

- 小規模排水対策と水質保全効果（藤原正弘／環境庁）
- 小規模下水道の現状と今後の展開（浦田健一／建設省）
- 農村集落排水事業の現状と今後の展開（松浦良和／農水省）
- 生活排水処理施設の整備と今後の展開（森一晃／厚生省）
- 小規模排水処理施設の総合整備計画（由田秀人／兵庫県）
- 新しい処理技術の動向と選択（須藤隆一／国公害研）
- 小規模排水処理施設の窒素・リン除去（桜井敏郎／神奈川県衛研）
- バイオテクノロジーを活用した小規模排水処理（浅野賢二／建設省）
- 再利用を目的とした小規模排水処理技術（井上源之助／(財)造水促進セ）